



新春に晴れやかな笑顔 (令和5年 二十歳の集い)

令和4年12月定例会は、11月29日から12月20日まで22日間の会期で開催されました。

この定例会では、令和3年度の各会計決算（詳細は2面に掲載）を認定するなど、35件の市長提出議案について可決・認定・同意しました。議員提出議案は、小平市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定を可決し、1件を否決、1件を閉会中の継続審査としました。

また、11月30日から3日間にわたり、25人の議員から53件の一般質問がありました。

12月定例会

令和4年度
一般会計補正予算 (第6号)
などを可決

—令和3年度各会計決算を認定—



新しい
年を迎えて

謹んで新年のお慶びを申し上げます。市民の皆様におかれましては、日頃から市議会に対し、ご理解とご協力を賜り、市議会を代表して厚くお礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症の流行が長期化する中、医療・介護などの現場の方々をはじめ、感染症拡大防止にご尽力いただいております事業者及び市民の皆様にご心より感謝申し上げます。

昨年、日常生活や社会経済活動の再開に向け、行動制限緩和の取組が進められた一方、原材料価格の高騰や円安の影響などによるエネルギー・食料品等の価格高騰が、国民生活・事業活動に大きな影響を及ぼしました。

一方で、サッカーワールドカップが開催され、選手たちの活躍に、大いに元気づけられた年でもありました。そのような中で、小平市議会におきましては、昨年4回の定例会を開催し、新型コロナウイルス感染症対策や、生活者や事業者支援対策の補正予算等について審議してまいりました。

3月には、地方自治法第100条に基づき、「市内認可保育園開園時園庭縮小問題調査特別委員会」(百条委員会)を新たに設置し、調査事項に係る関係資料の提出請求をはじめ、参考人招致の実施や市長等の証人喚問を予定するなど、調査を進めております。

「市民と議会の意見交換会」は、3年ぶりに会場での開催が実現し、各常任委員会の政策課題等をテーマに皆様と意見交換を行い、多くの貴重なご意見をいただくことができました。

現在、さらなる議会改革に向け、ペーパーレス会議システムの導入など議会のICT化を進めております。二元代表制の一翼を担う市議会の役割を果たすべく、今後も機会を捉えて市民の皆様の声を十分にお聞きしながら、市政に反映させてまいります。

本年の4月には市議会議員選挙が予定されております。現職議員の任期も残すところわずかとなりましたが、市民福祉の向上、安全・安心に暮らせるまちづくりのさらなる実現に向け、議員一同誠心誠意努めてまいりますので、引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして幸多き一年となりますことを心から祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



副議長
山岸真知子



議長
松岡あつし

